

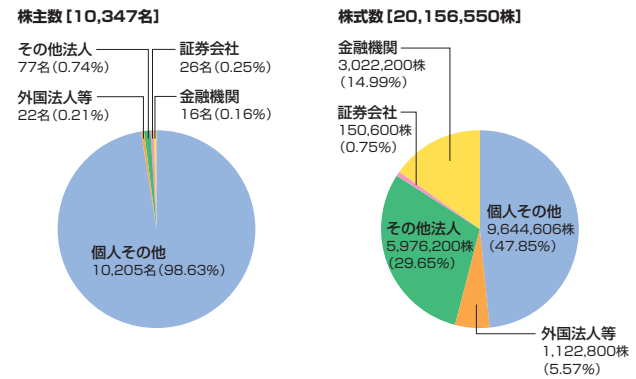
株式の概況 (平成18年3月31日現在)

大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
1. 三井物産株式会社	2,366,000	11.74
2. 株式会社小松製作所	1,820,000	9.03
3. 株式会社クボタ	1,200,000	5.95
4. 山村 章	803,400	3.99
5. 日興シティ信託銀行(信託口)	673,600	3.34
6. ゴールドマン・サックス・インターナショナル	494,600	2.45
7. 株式会社三菱東京UFJ銀行	420,000	2.08
8. 住友信託銀行株式会社	400,000	1.98
9. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	333,300	1.65
10. 株式会社北日本銀行	205,500	1.02

(注) 当社は自己株式240,144株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

所有者別株式分布状況



(注) 自己株式240,144株は上記の円グラフ中の株主数・株式数に含まれていません。

FerroTec

株式会社 フェローテック

〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14
TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848
URL <http://www.ferrotec.co.jp/>

フェローテックは環境方針に基づき環境保全活動を積極的に推進しています。

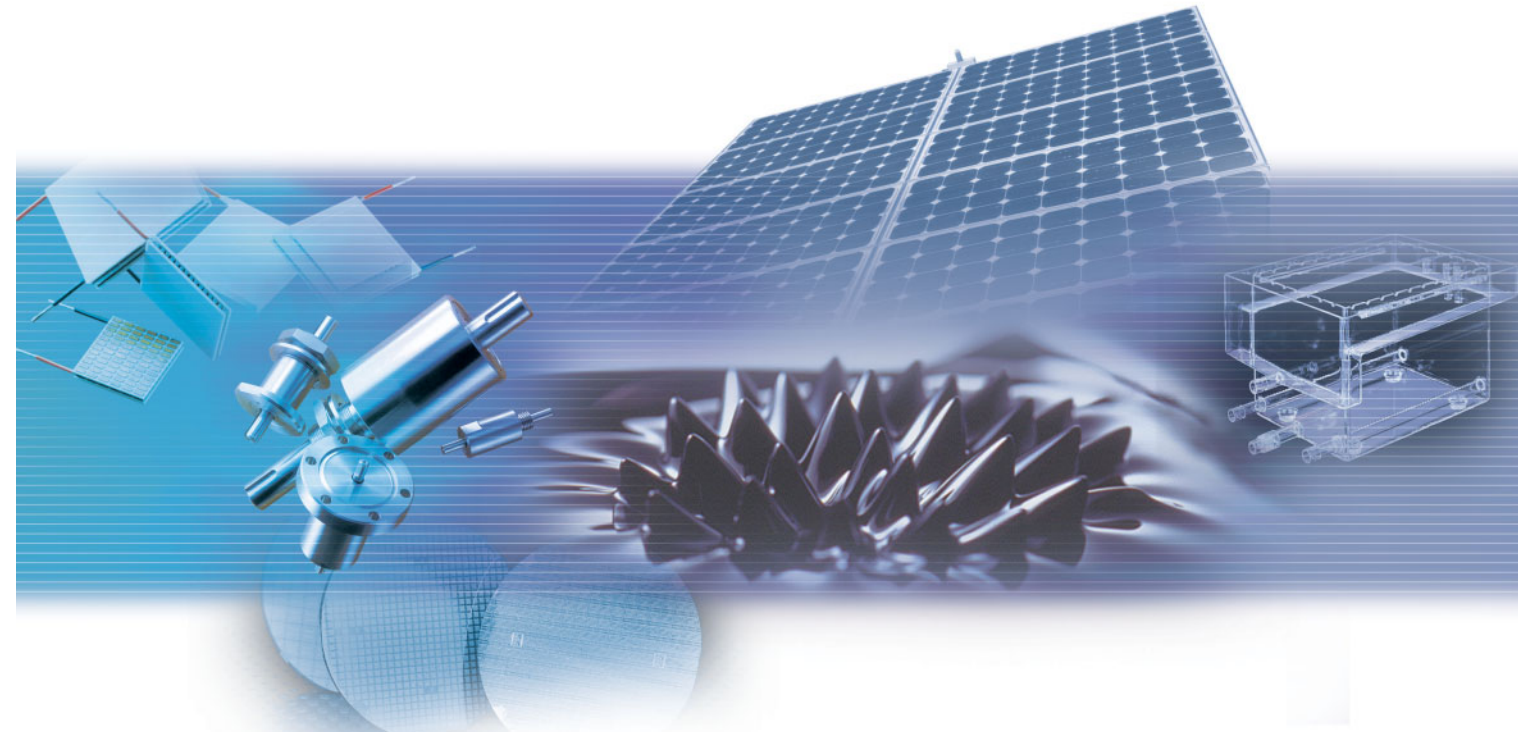
株主メモ

決算期 3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 株主確定 3月31日
利益配当金 3月31日
1単元の株式数 100株
株主名簿管理人 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付および電話照会先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(住所変更など用紙のご請求) ☎ 0120-175-417
(その他のご照会) ☎ 0120-176-417
同取次所 住友信託銀行株式会社
本店および全国各支店

第26期 事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日

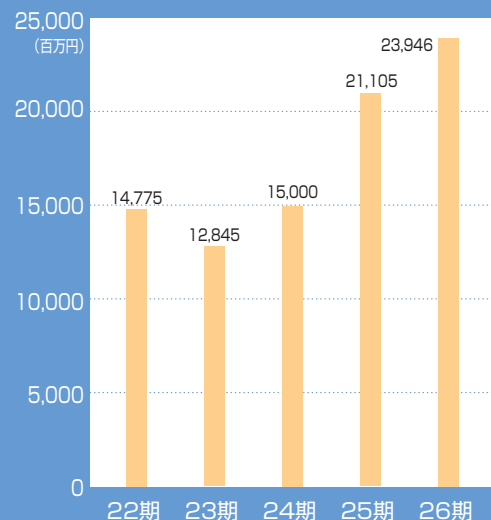
証券コード:6890



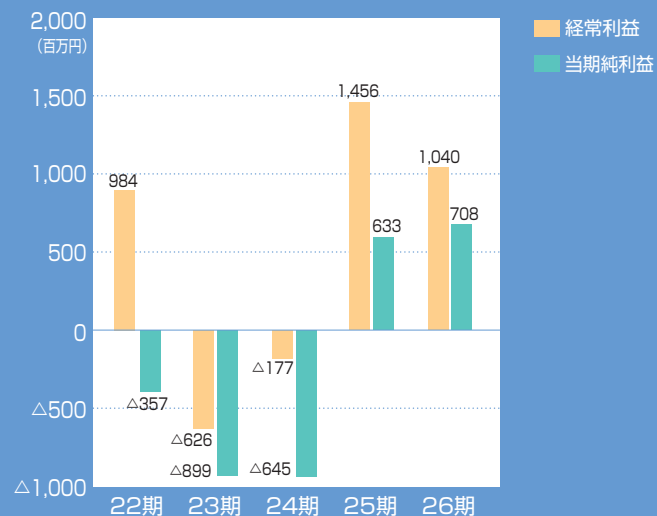
FerroTec
株式会社 フェローテック

連結財務ハイライト

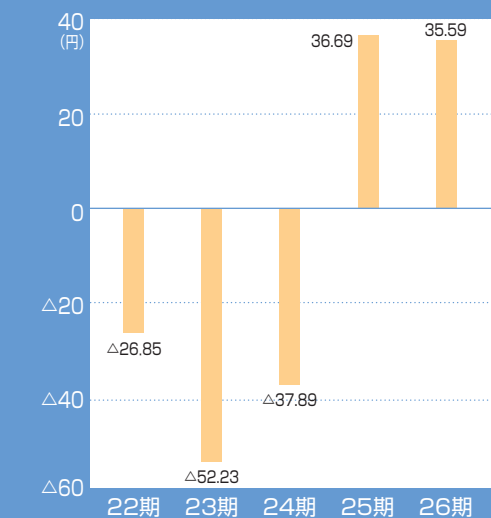
売上高



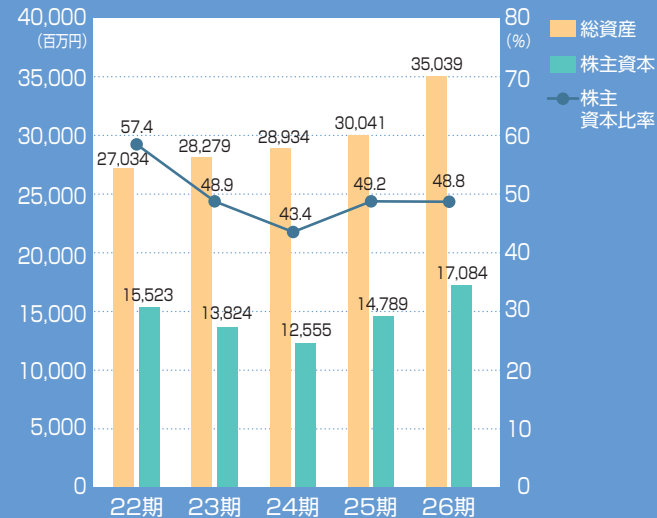
経常利益・当期純利益



一株当たり当期純利益



総資産・株主資本・株主資本比率



株主のみなさまへ



代表取締役社長
山村 章

新製品開発・高付加価値製品へのシフトが、 着実に成果を上げています。

当期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)のエレクトロニクス産業界は、上半期は価格競争の激化などで厳しい環境にありましたが、下半期からは薄型テレビ、デジタル録画機、ハイテクを用いた白物家電、新携帯音楽プレイヤー等の市場が拡大し、また中国における自動車の普及による電子部品需要もあります。さらに、FPD(フラットパネルディスプレイ)関連産業の投資は継続し、半導体産業は回復に転じました。

こうした中、当社グループも上半期までは苦戦を強いられたものの、下半期以降は回復に転じました。

装置関連事業では、米国半導体市場の回復が顕著で売上は計画どおり推移しました。また、国内石英製造ラインの中国移管をさらに進めるとともに、切削加工技術の導入や高付加価値製品へのシフトなどで国内生産の効率化を図りました。

CMS(受託生産)事業では、技術導入および設備搬入が進んだシリコンウエーハ加工が順調に拡大し、当期末で設備移管はほぼ完了しました。工作機械の受託製造も販路拡大で

成果を上げ、これまでのノウハウを活かした太陽電池用シリコン単結晶引上装置を開発し、大手太陽電池パネルメーカーから注文を受けました。

一方、電子デバイス事業は、主力製品であったコンピュータシールの需要が減少しましたが、コンピュータシール代替製品であるFFB(磁性流体軸受)の顧客からの評価が進み、下半期後半から一部検査装置向けに出荷を開始しました。

利益面では、原材料高騰による影響で各製品ともに利益を圧迫しましたが、その対策として、昨年からの生産革新プログラムを導入しており、効果が徐々に上がっています。

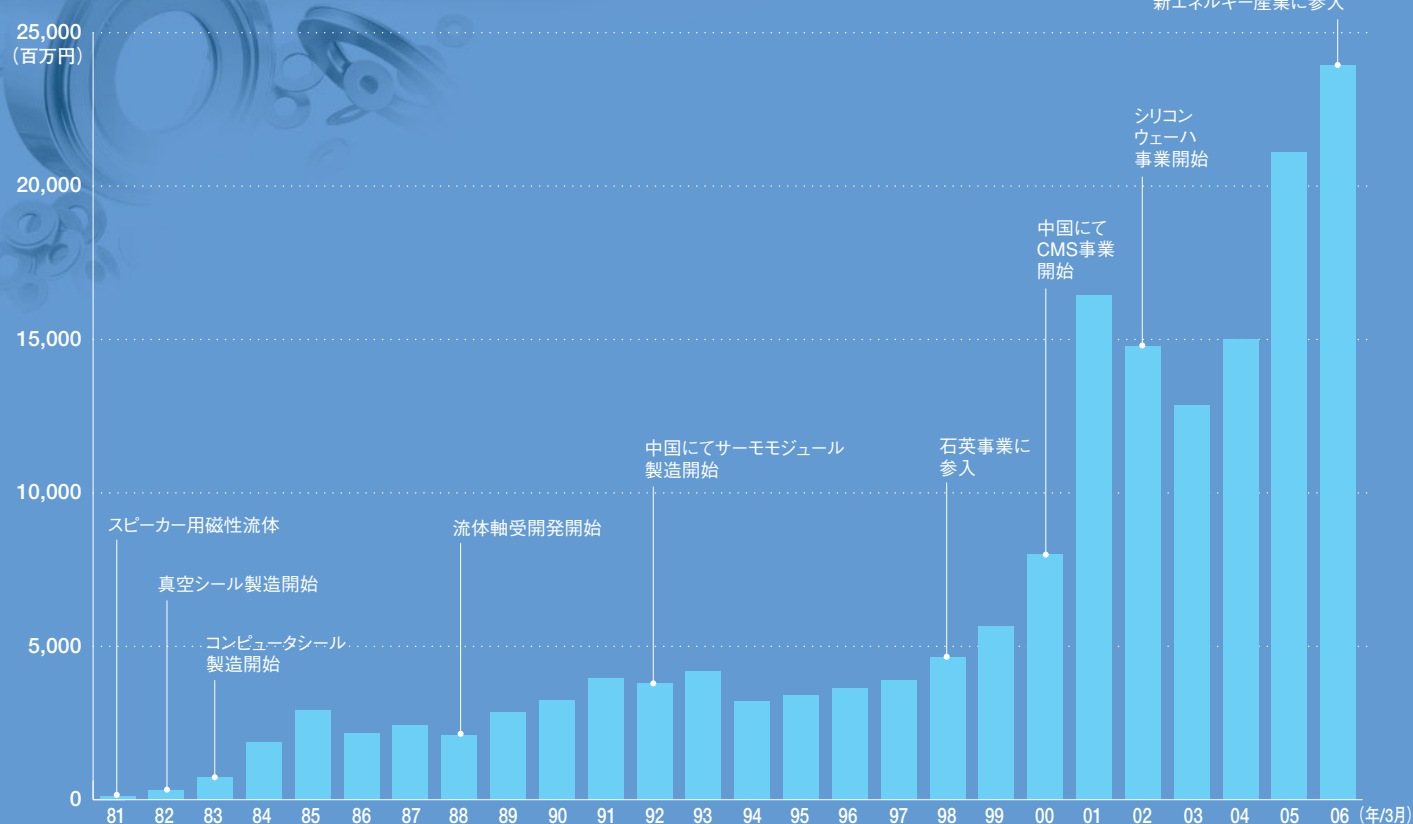
この結果、当期の連結業績は、売上高は239億46百万円(前期比13.5%増)となったものの、営業利益は12億10百万円(同31.3%減)、経常利益は10億40百万円(同28.5%減)となりましたが当期純利益は、7億8百万円(同11.8%増)となりました。

今後とも、株主のみなさまには、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さまざまなハイテク産業を支える フェローテックのテクノロジー。

フェローテックは、磁性流体の応用製品メーカーとして誕生して以来、先端テクノロジーを基盤とした独自性ある高品質な製品とサービスの開発に取り組んでおり、現在、半導体・液晶、新エネルギー、自動車、情報機器、医療・バイオなどの産業へその活躍の場を広げています。これからもフェローテックは、優れた製品・サービスの提供を通じてハイテク産業の進化に貢献していきます。

売上高の推移



半導体・液晶産業

真空シール

半導体・液晶の製造工程では、チリやホコリがわずかに混入しても、品質の劣化や生産効率の低下につながることから、これらの製造ラインは真空状態の完璧な密閉空間であることが求められます。「真空シール」は、通常2気圧もの圧力に耐え、ガスや微細粒子の進入を防ぐとともに、密閉空間内に回転運動を伝える重要な役割を果たしています。



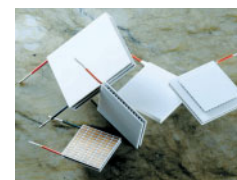
石英ガラス・ファインセラミックス製品

「石英ガラス製品」「ファインセラミックス製品」は、熱に強く、薬品にも侵されにくいという特性があります。こうした特性を活かして、クリーンな環境で高温作業をする半導体シリコンウェーハの処理工程で採用されています。また、「石英ガラス製品」のひとつである「石英るつぼ」は、単結晶引上装置でシリコン融液の受け皿として使用されています。



サーモモジュール

半導体や液晶パネルとなるウェーハやガラス基板は、高温の処理環境下に置くと、熱膨張を起こしてしまいます。このため、ウェーハ・ガラス基板を移動させるトレイや、洗浄に使用する薬液の温度保持に「サーモモジュール」を使ったチラー（冷却装置）やサーキュレーター（温度を一定に保つ循環器）が採用されています。



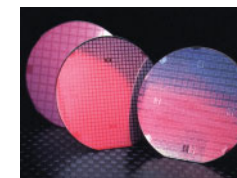
単結晶シリコンインゴット

主にトランジスターやダイオードなど、半導体製品の基板材料となる「単結晶シリコンインゴット」を製造し、ウェーハメーカーに提供しています。



シリコンウェーハ加工

半導体シリコンウェーハの切断、鏡面研磨、洗浄を大手ウェーハメーカーから受託し、中国上海で展開しています。同社工場は、月産30万枚の処理能力を有しています。



製造装置洗浄

ウェーハや液晶パネル製造装置の汚れを残したまま作業を続けることは、不良品発生の原因となります。こうした状況を防ぐため、製造装置内部の機能部品の定期的な洗浄サービスを提供しています。



新エネルギー産業

太陽電池用シリコン単結晶引上装置

「真空シール」「石英製品」といった半導体分野で蓄積した技術・製品を応用し、太陽電池の基板材料となる単結晶シリコンインゴットの製造装置を製造・販売しています。



太陽電池用シリコン単結晶

中国上海で「太陽電池用シリコンインゴット」を製造・販売しています。単結晶シリコンを用いた太陽電池は、多結晶シリコンなど他の原料を用いたものに比べ、発電効率が高いと言われています。

自動車産業

サーモモジュール

「サーモモジュール」は、電気を流すことで対象物を加熱・冷却する半導体素子です。小型・軽量でフロンを必要としないため、自動車をはじめ、エレクトロニクス、光通信、バイオテクノロジーなど、幅広い分野で採用されています。



適用事例 自動車用温調シート

自動車シートの内部から温風・冷風を送出し、快適な車内環境をつくるデバイスとして「サーモモジュール」が使用されています。



アメリカン社 温調シートシステム

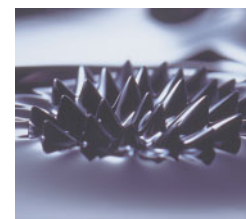


画像提供：アメリカン

情報機器産業

磁性流体

「磁性流体」は、現在実用化されているなかでは磁界に反応する唯一の液体物質で、粘性を有しています。気密性を確保するシーリング材料や放電・放熱媒体として、オーディオや情報機器分野で広く使われています。



適用事例 オーディオスピーカー

スピーカーの磁気回路部に注入されています。「磁性流体」のもつ放熱効果などによって、スピーカーの音質向上に貢献しています。



適用事例 磁性流体動圧軸受

磁性流体動圧軸受は、ベアリング部の潤滑油に「磁性流体」を使用した動圧軸受です。磁界に反応する「磁性流体」を用いることで潤滑油漏れが少なく、またオイルの割合が多いため、長く使用しても回転の安定性を損なうことがありません。こうしたことから、高速回転が要求されるハードディスクの検査装置に採用されています。



医療・バイオ産業

ナノサイズの磁性粒子である「磁性流体」や、瞬時に対象物を暖めたり、冷やしたりできる「サーモモジュール」は、その特性を活かして医療・バイオ産業における先端技術の開発に貢献しています。

適用事例 バイオメディカル用磁性ナノ粒子キット

バイオメディカル分野の研究者が開発物の評価に使用するツールとして、複数の磁性ナノ粒子の評価用サンプルをセットにした「バイオメディカル用磁性ナノ粒子キット」を提供しています。



適用事例 DNA増幅装置

DNA解析などにもとづく先端医療や医薬品開発が注目を集めるなか、こうした分野の研究開発で行われているDNA増幅のための温度制御にサーモモジュールが活躍しています。

拡大する「新エネルギー市場」を見据えて。

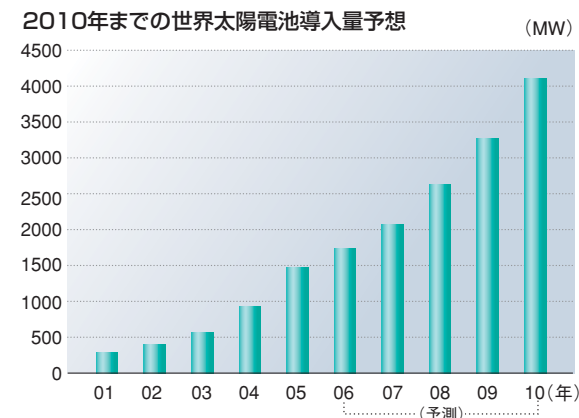


Q 太陽光発電の市場性について聞かせてください。

A 地球温暖化防止に資する新エネルギーとして、太陽光発電の普及が急速に進んでいます。

CO₂（二酸化炭素）をはじめとする温室効果ガスによる地球温暖化の進行が深刻化するなか、太陽光や風力などを活用した「新エネルギー」の普及が世界的に期待されています。特にEU諸国などでは、エネルギー源として枯渇の心配がなく、地球上に大量に降り注ぐ太陽光によって発電した電力を電力会社が買い取る政策を積極的に推進しており、アジア諸国や米国でも同様の動きが広がっています。

こうしたことから、太陽光発電に使われる太陽電池の需要は近年急速に拡大しており、2010年には全世界での太陽電池導入量が2005年比で約3倍になるとの見方もあります。



Q 太陽電池関連製品の事業展開の背景について聞かせてください。

A 蓄積した技術を応用した新市場開拓をめざし、太陽電池関連製品事業をスタートさせました。

太陽電池は、太陽光を受けると発電する半導体の一種です。フェローテックグループでは、半導体やフラットパネルディスプレイ（液晶・プラズマディスプレイ）の製造装置メーカーに対して、「真空シール」「石英製品」「セラミックス製品」などの製品を製造・販売しているほか、シリコンウェーハメーカーに「単結晶シリコンインゴット」やウェーハの受託加工などのサービスを提供しています。こうした製品やサービスの開発過程で培ってきた技術やノウハウの応用を模索するなかで、成長著しい太陽電池市場向け製品の開発をスタートさせました。

Q 太陽電池関連製品事業の現状と展望を聞かせてください。

A 既存製品の販路と事業領域の拡大を進めています。

フェローテックグループでは、当期に単結晶シリコンインゴットを製造するための「太陽電池用シリコン単結晶引上装置」の開発に成功し、太陽電池関連製品事業を立ち上げ、現在、国内の太陽電池メーカーに向けて積極的に販売しています。さらに、この装置とあわせて「太陽電池用単結晶シリコンインゴット」も販売しています。

今後は、世界規模で地球温暖化防止への取り組みが一層加速すると見込まれることから、これら製品の販路を世界各国の太陽電池メーカーへと拡大していくとともに、太陽電池製造の後工程など他プロセスへの進出をめざしています。

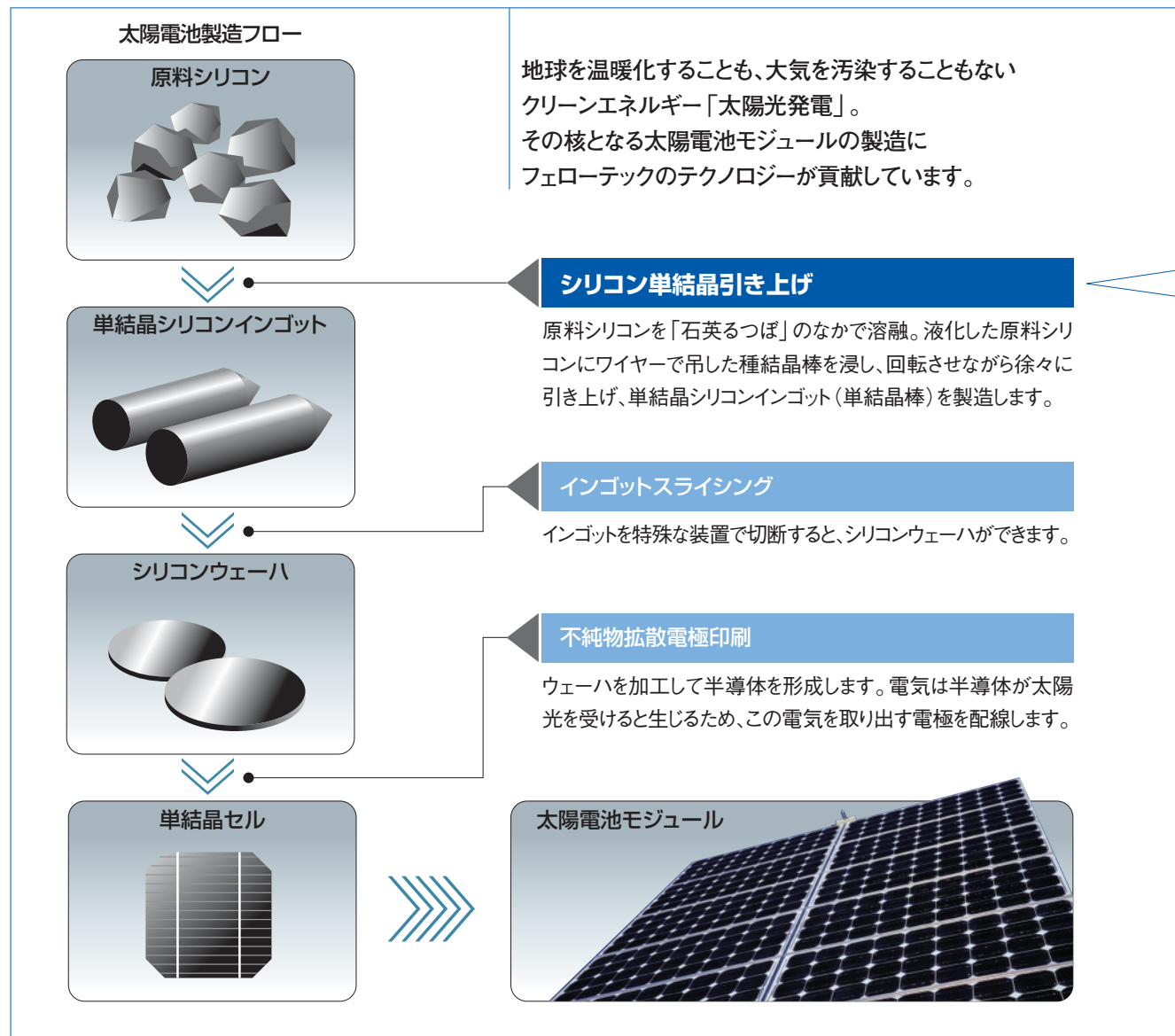
NEWS

中国上海に新会社 「上海漢虹精密機械有限公司」を設立

フェローテックでは、CMS（コントラクトマニュファクチャリングサービス）事業として中国上海の子会社で展開してきた工作機械事業を分社・独立し、上海漢虹精密機械有限公司を新たに設立。平成18年5月より本格稼働しました。この工場は、「太陽電池用シリコン単結晶引上装置」の製造拠点でもあります。

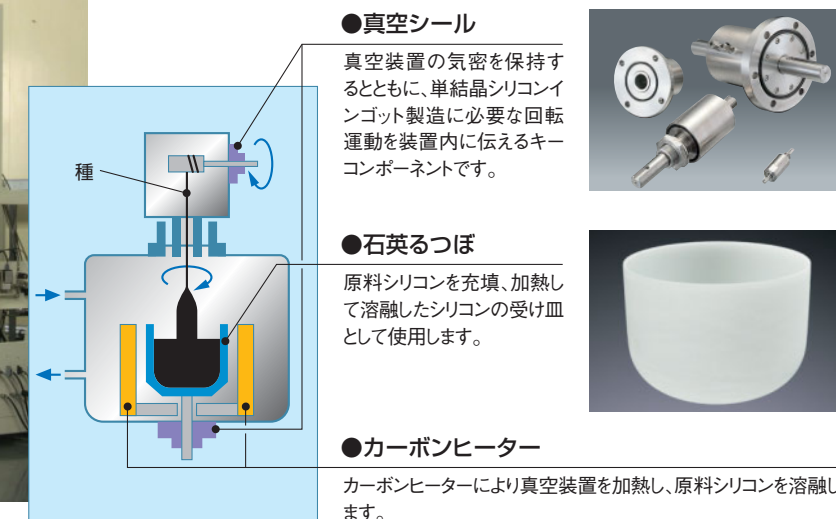


太陽電池製造に貢献するフェローテックのテクノロジー。



PRODUCT 太陽電池用シリコン単結晶引上装置

単結晶シリコンインゴット（単結晶棒）を製造するための装置です。原料シリコンを真空装置内の電気炉に設置した「石英るつぼ」に充填して「カーボンヒーター」で加熱し、液化します。この「石英るつぼ」のなかで原料シリコンを溶融し、融液のなかに種結晶棒を浸漬させ、ゆっくり回転させながら引き上げてシリコン単結晶を製造します。回転部分には「真空シール」を使用し、「カーボンヒーター」「石英るつぼ」も製造。装置の主要部品の製作はグループ内で完結しています。





連結貸借対照表 (単位:千円)

科目	第26期 平成18年3月31日現在	第25期 平成17年3月31日現在
資産の部		
流動資産	14,465,906	12,599,681
現金及び預金	4,108,656	3,188,815
受取手形及び売掛金	5,067,014	5,065,736
有価証券	299,000	-
たな卸資産	3,504,918	2,922,602
繰延税金資産	123,095	133,622
その他流動資産	1,503,809	1,442,192
貸倒引当金	△ 140,587	△ 153,287
固定資産	20,573,640	17,441,927
有形固定資産	13,819,353	11,190,556
建物及び構築物	4,091,685	3,047,344
機械装置及び運搬具	4,602,930	3,608,437
工具器具備品	1,175,330	955,263
土地	2,552,077	2,552,187
建設仮勘定	1,397,328	1,027,323
無形固定資産	3,403,339	2,642,694
営業権	2,154,992	1,943,271
連結調整勘定	463,113	177,280
その他	785,234	522,142
投資その他の資産	3,350,947	3,608,676
投資有価証券	1,591,142	1,558,071
長期貸付金	828,728	817,391
繰延税金資産	64,017	27,053
その他投資	1,547,915	1,366,734
貸倒引当金	△ 680,856	△ 160,575
資産合計	35,039,546	30,041,608

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

●**資産の部** 当期末の資産合計は前期末に比べ49億97百万円増加し、350億39百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したこと、中国子会社の新工場建設にともない有形固定資産が増加したことによるものです。

(単位:千円)

科目	第26期 平成18年3月31日現在	第25期 平成17年3月31日現在
負債の部		
流動負債	11,521,418	9,548,363
支払手形及び買掛金	3,086,786	1,840,305
短期借入金	3,255,706	3,093,292
一年内返済予定長期借入金	2,549,855	2,219,172
未払法人税等	469,648	166,589
繰延税金負債	10,112	-
賞与引当金	149,863	134,247
その他流動負債	1,999,446	2,094,755
固定負債	6,368,779	5,620,567
転換社債型新株予約権付社債	1,776,643	1,776,643
長期借入金	3,913,381	3,637,991
退職給付引当金	22,635	30,114
役員退職慰労引当金	118,900	114,500
繰延税金負債	334,876	-
その他固定負債	202,342	61,317
負債合計	17,890,198	15,168,930
少数株主持分		
少数株主持分	64,770	83,423
資本の部		
資本金	6,910,461	6,910,461
資本剰余金	7,784,251	7,784,251
利益剰余金	1,300,643	762,141
その他有価証券評価差額金	500,617	153,732
為替換算調整勘定	748,717	△ 661,220
自己株式	△ 160,112	△ 160,112
資本合計	17,084,577	14,789,254
負債、少数株主持分及び資本合計	35,039,546	30,041,608

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

●**負債の部** 当期末の負債合計は前期末に比べ27億21百万円増加し、178億90百万円となりました。これは主に売上増加にともなう仕入債務の増加と借入金の増加です。

●**資本の部** 当期末の資本合計は前期末に比べ22億95百万円増加し、170億84百万円となりました。これは主に為替が円安に振れたことによる為替換算調整勘定の増加です。

連結損益計算書 (単位:千円)

科目	第26期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	第25期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
経常損益の部		
売上高	23,946,131	21,105,746
売上原価	17,022,507	14,423,382
売上総利益	6,923,623	6,682,364
販売費及び一般管理費	5,712,831	4,920,338
営業利益	1,210,791	1,762,026
営業外収益	473,925	244,791
営業外費用	643,835	550,187
経常利益	1,040,881	1,456,630
特別損益の部		
特別利益	929,015	212,813
特別損失	650,996	458,768
税金等調整前当期純利益	1,318,900	1,210,674
法人税、住民税及び事業税	502,585	182,238
法人税等調整額	112,743	350,687
少数株主利益	△ 5,193	43,967
当期純利益	708,764	633,780

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

●**連結損益計算書** 売上高は、シリコンウエーハ加工、太陽電池用シリコン単結晶引上装置の売上拡大により、前期に比べ28億40百万円増加し、239億94百万円となりました。経常利益は10億40百万円、当期純利益は7億8百万円で前期に比べ74百万円の増益となりました。

連結剰余金計算書 (単位:千円)

科目	第26期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	第25期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	7,784,251	6,700,406
資本剰余金増加高	-	1,083,845
増資による新株の発行	-	1,083,845
資本剰余金期末残高	7,784,251	7,784,251
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	762,141	293,249
利益剰余金増加高	708,764	633,780
当期純利益	708,764	633,780
利益剰余金減少高	170,262	164,888
配当金	159,331	136,089
役員賞与	3,220	-
その他	7,710	28,799
利益剰余金期末残高	1,300,643	762,141

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)

科目	第26期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	第25期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,133,700	2,149,121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,541,924	△ 2,349,524
財務活動によるキャッシュ・フロー	162,799	273,349
現金及び現金同等物に係る換算差額	185,946	△ 7,663
現金及び現金同等物の増加額	940,521	65,282
現金及び現金同等物の期首残高	3,188,815	3,123,532
連結子会社減少に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 20,680	-
現金及び現金同等物の期末残高	4,108,656	3,188,815

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

●**連結キャッシュ・フロー計算書** 営業活動による収支は、税金等調整前当期純利益13億18百万円に、主に減価償却費などの資金をとまならない費用などを加え41億33百万円の収入となりました。投資活動による収支は、中国子会社での設備投資などにより、35億41百万円の支出となりました。財務活動の結果得られた資金は1億62百万円となりました。これは借入金の純収入(収入と支出の差引)によるものです。



個別財務諸表(貸借対照表/損益計算書/利益処分)

貸借対照表

(単位:千円)

科目	第26期	第25期
	平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
資産の部		
流動資産	7,700,161	5,864,097
現金及び預金	1,464,097	1,122,616
受取手形	280,037	523,266
売掛金	2,515,761	1,642,147
未収入金	1,889,827	1,397,268
その他	1,550,433	1,178,793
固定資産	17,408,685	16,990,375
有形固定資産	2,915,663	2,954,704
無形固定資産	12,461	8,001
投資その他の資産	14,480,559	14,027,669
資産合計	25,108,846	22,854,472
負債の部		
流動負債	5,094,051	4,259,700
支払手形	869,310	455,589
買掛金	900,423	559,672
短期借入金	100,000	700,000
一年内返済予定長期借入金	1,266,034	1,486,884
未払金	1,338,790	836,837
その他	619,489	220,715
固定負債	4,020,959	3,268,219
転換社債型新株予約権付社債	1,776,643	1,776,643
長期借入金	1,864,284	1,378,518
その他	380,031	113,057
負債合計	9,115,011	7,527,919
資本の部		
資本金	6,910,461	6,910,461
資本剰余金	7,545,239	7,545,239
利益剰余金	1,197,629	877,231
その他有価証券評価差額金	500,617	153,732
自己株式	△ 160,112	△ 160,112
資本合計	15,993,835	15,326,553
負債・資本合計	25,108,846	22,854,472

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:千円)

科目	第26期	第25期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
売上高	11,288,314	8,927,634
売上原価	9,045,994	6,623,943
売上総利益	2,242,320	2,303,690
販売費及び一般管理費	2,027,078	1,950,873
営業利益	215,241	352,817
営業外収益	563,536	452,152
営業外費用	105,670	159,954
経常利益	673,108	645,015
特別利益	906,712	263,541
特別損失	603,563	372,974
税引前当期純利益	976,257	535,582
法人税、住民税及び事業税	391,890	5,350
法人税等調整額	104,637	299,856
当期純利益	479,728	230,376
前期繰越利益	717,900	645,944
当期末処分利益	1,197,629	876,320

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

(単位:千円)

科目	第26期	第25期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
(当期末処分利益の処分)		
当期末処分利益	1,197,629	876,320
任意積立金取崩額	—	911
特別償却準備金取崩額	—	911
計	1,197,629	877,231
これを次のとおり処分いたします。		
利益処分額	159,331	159,331
配当金	1株につき8円	1株につき8円
計	159,331	159,331
次期繰越利益	1,038,298	717,900
(その他資本剰余金の処分)		
その他資本剰余金	1,929,852	1,929,852
その他資本剰余金次期繰越額	1,929,852	1,929,852

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



会社概要

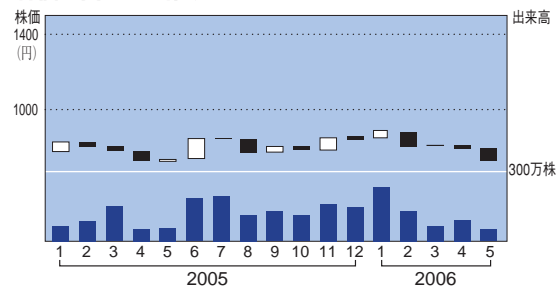
会社概要(平成18年3月31日現在)

商号 株式会社フェローテック
 (英文表記) Ferrotec Corporation
 設立 昭和55年9月27日
 資本金 69億1,000万円
 株式公開 JASDAQ 平成8年10月18日
 (証券コード:6890)
 決算期 3月31日
 従業員数 126名
 事業所 本社
 〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14
 関西営業所
 〒541-0053 大阪市中央区本町4-6-17
 本町KGビル8F
 千葉テクニカルセンター
 〒289-2131 千葉県匝瑳市みどり平1-4

役員(平成18年6月23日現在)

代表取締役社長 山村 章
 常務取締役 賀 賢漢
 取締役 橋 誠
 取締役 濱本 浩志
 取締役 椿 勲
 社外取締役 山根 威人
 取締役 趙 漢植
 常勤監査役 福井 徹
 監査役 中元 紘一郎
 監査役 明石 俊夫

株価/出来高の推移



グローバルネットワーク(平成18年3月31日現在)

■ 国内

- 株式会社フェローテック(東京)
- 株式会社フェローテックシリコン(東京)
- 株式会社フェローテック精密(岩手)
- アリオンテック株式会社(山形)
- 株式会社フェローテックオーツ(大阪)

■ 海外

- 杭州大和熱磁電子有限公司(中国杭州市)
- 上海申和熱磁電子有限公司(中国上海市)
- 上海漢虹精密機械有限公司(中国上海市)
- Ferrotec Corporation Singapore Pte. Ltd.
- Ferrotec (USA) Corporation(アメリカ)
- Ferrotec GmbH(ドイツ)
- Ferrotec Ltd.(イギリス)
- Ferrotec S.A.(スペイン)
- Ferrotec S.R.L.(イタリア)
- Ferrotec SARL(フランス)
- Ferrotec Engineering SRL(ルーマニア)
- SCTB NORD(ロシア)

